

仏教美術等についてのアンケート調査結果

1. 調査の概要

調査時期：平成23年(2011年)5月～6月
 対象者：県政モニター 354人
 回答者：275人(回収率 77.7%)
 担当課：文化財保護課

調査の目的

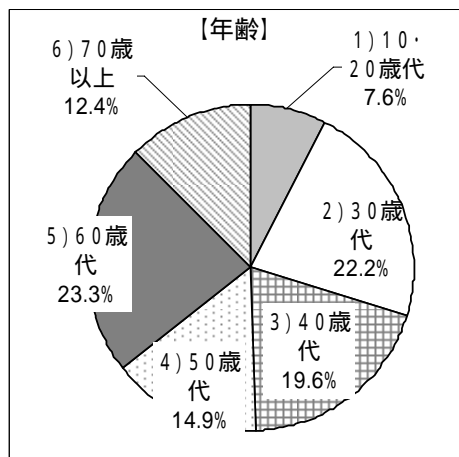
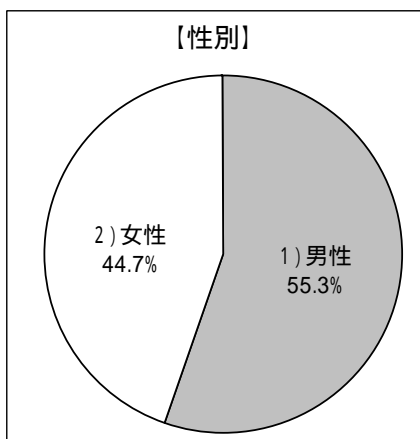
寺社の建造物、仏像彫刻、仏画、書跡などの“仏教美術”に対する県民の皆さんの関心や、琵琶湖文化館()についての意識等を把握することを目的とします。

県立琵琶湖文化館(大津市打出浜)は、国宝・重要文化財の収蔵数としては全国の博物館の中で第6位となる多数の収蔵品を有していますが、施設の老朽化等のため平成20年4月から休館しています。また、平成21年12月に県で策定した「外郭団体および公の施設の見直し計画」において、“現施設の機能は廃止することとし、『別の展示保存施設』の確保に努める”こととしています。

回答者属性(問1～問3)

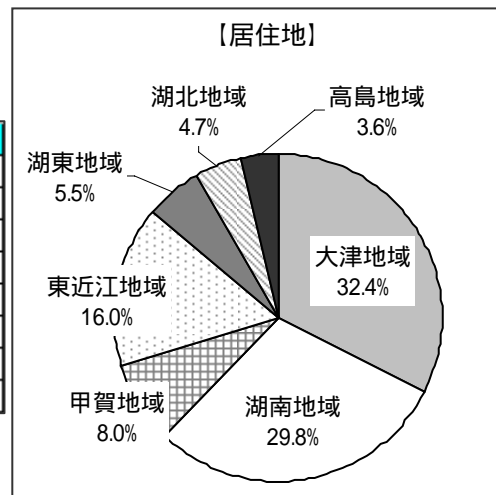
<性別・年齢別内訳>

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計	構成比
男(人)	5	16	23	24	52	32	152	55.3%
女(人)	16	45	31	17	12	2	123	44.7%
計(人)	21	61	54	41	64	34	275	100.0%
構成比	7.6%	22.2%	19.6%	14.9%	23.3%	12.4%	100.0%	



<居住地別内訳>

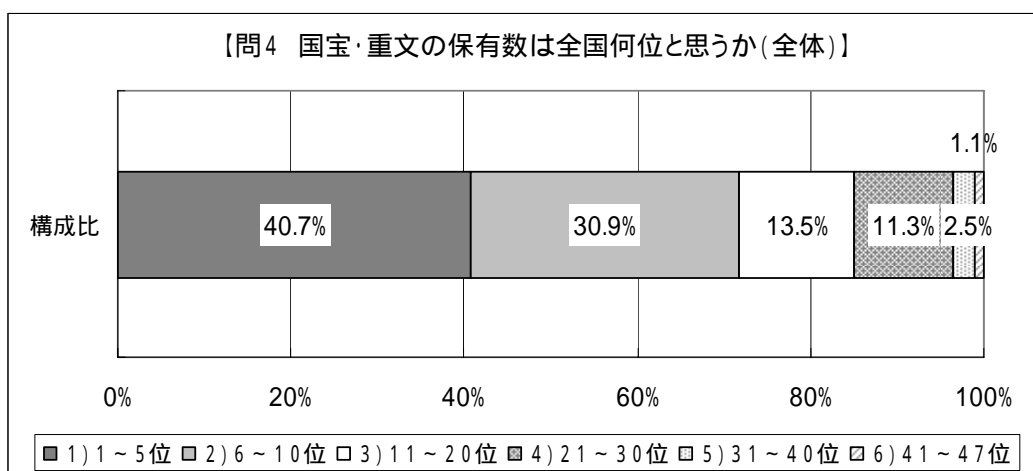
項目	人数(人)	構成比
1)大津地域(大津市)	89	32.4%
2)湖南地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)	82	29.8%
3)甲賀地域(湖南市、甲賀市)	22	8.0%
4)東近江地域(近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町)	44	16.0%
5)湖東地域(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)	15	5.5%
6)湖北地域(長浜市、米原市)	13	4.7%
7)高島地域(高島市)	10	3.6%
合計	275	100.0%



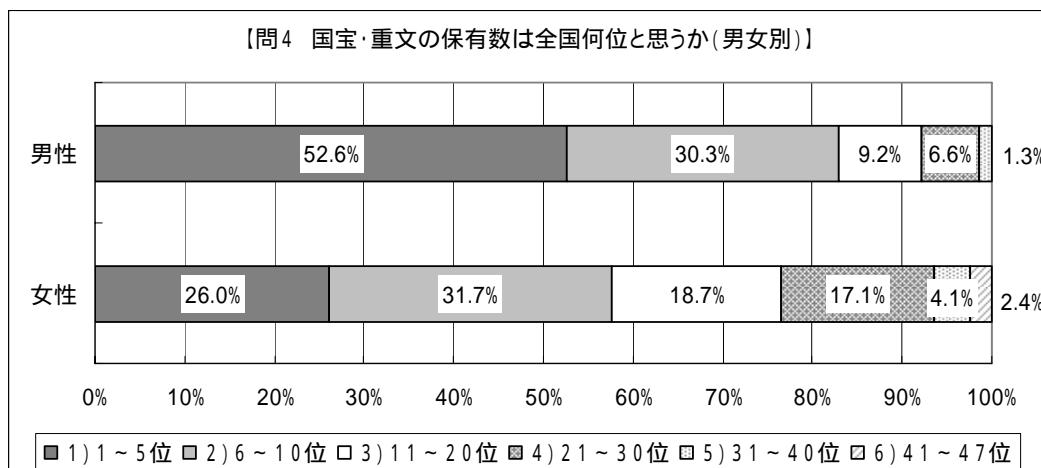
2. 質問事項と集計結果

問4 滋賀県の国宝・重要文化財の保有数（寺社等の建造物や仏像等の美術工芸品の合計数）は、全国47都道府県のうち何位だと思いますか？

項目	人数(人)	構成比
1) 1～5位	112	40.7%
2) 6～10位	85	30.9%
3) 11～20位	37	13.5%
4) 21～30位	31	11.3%
5) 31～40位	7	2.5%
6) 41～47位	3	1.1%
合計	275	100.0%

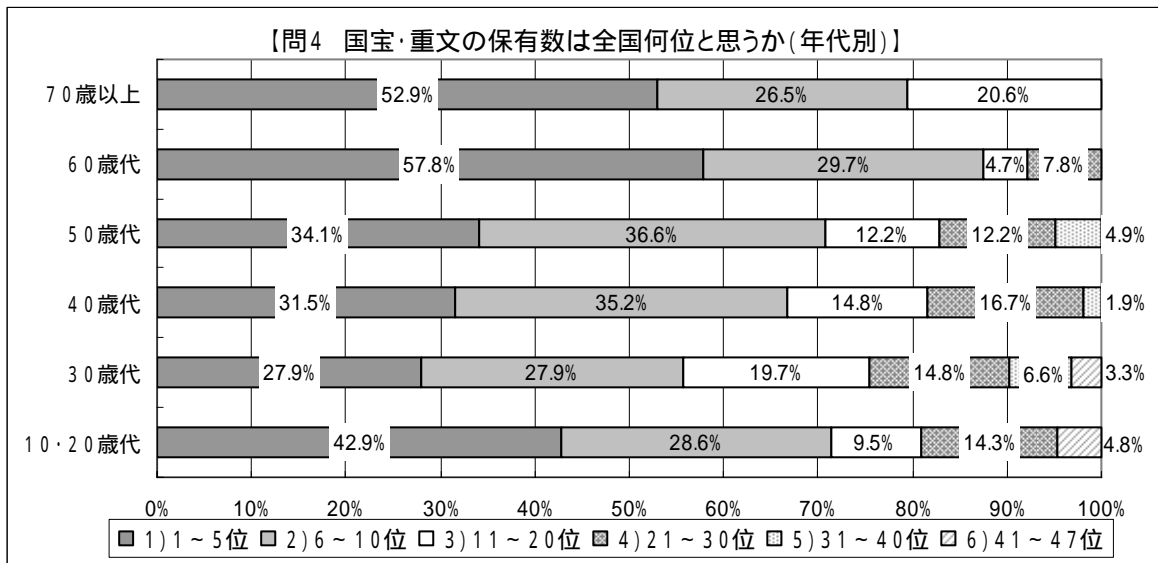


項目	男性(人)	女性(人)
1) 1～5位	80	32
2) 6～10位	46	39
3) 11～20位	14	23
4) 21～30位	10	21
5) 31～40位	2	5
6) 41～47位	0	3
合計	152	123



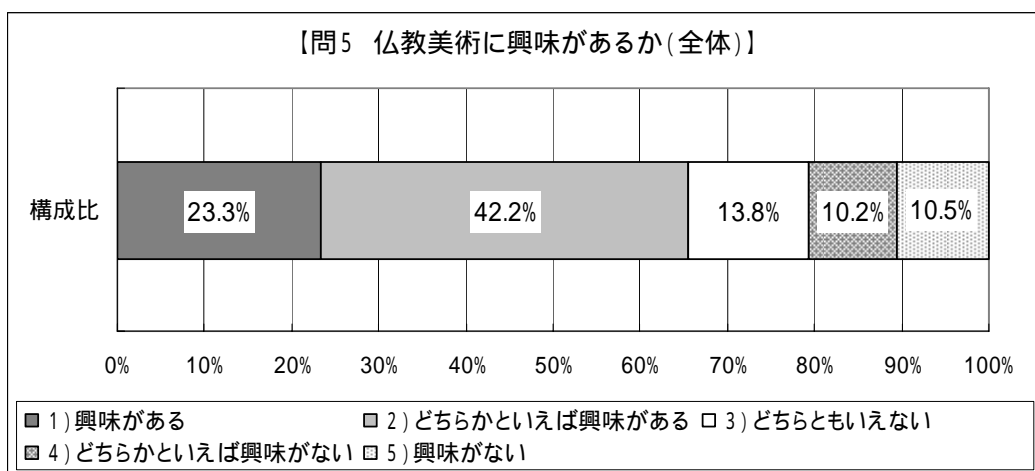
(単位:人)

項目	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1)1～5位	9	17	17	14	37	18
2)6～10位	6	17	19	15	19	9
3)11～20位	2	12	8	5	3	7
4)21～30位	3	9	9	5	5	0
5)31～40位	0	4	1	2	0	0
6)41～47位	1	2	0	0	0	0
合計	21	61	54	41	64	34

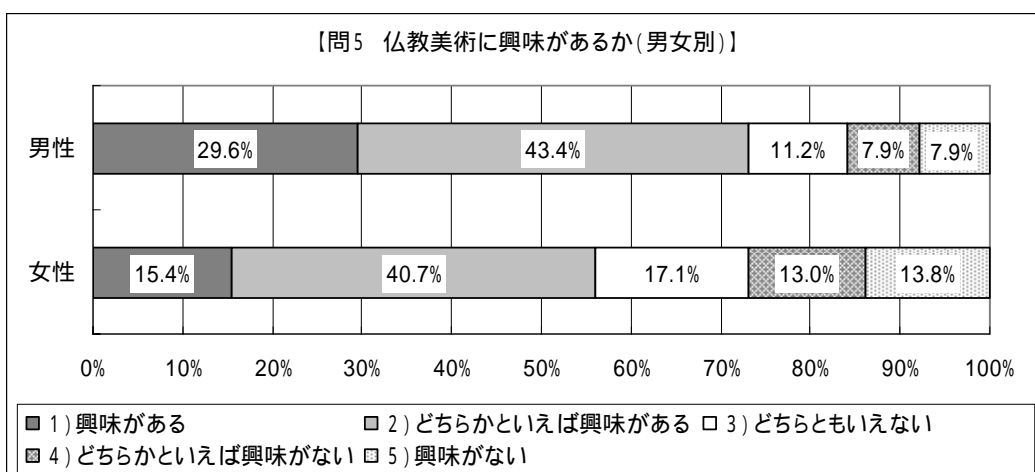


問5 寺社の建造物、仏像彫刻、仏画、書跡などの仏教美術（以下「仏教美術」といいます。）に興味がありますか？

項目	人数(人)	構成比
1) 興味がある	64	23.3%
2) どちらかといえば興味がある	116	42.2%
3) どちらともいえない	38	13.8%
4) どちらかといえば興味がない	28	10.2%
5) 興味がない	29	10.5%
合計	275	100.0%

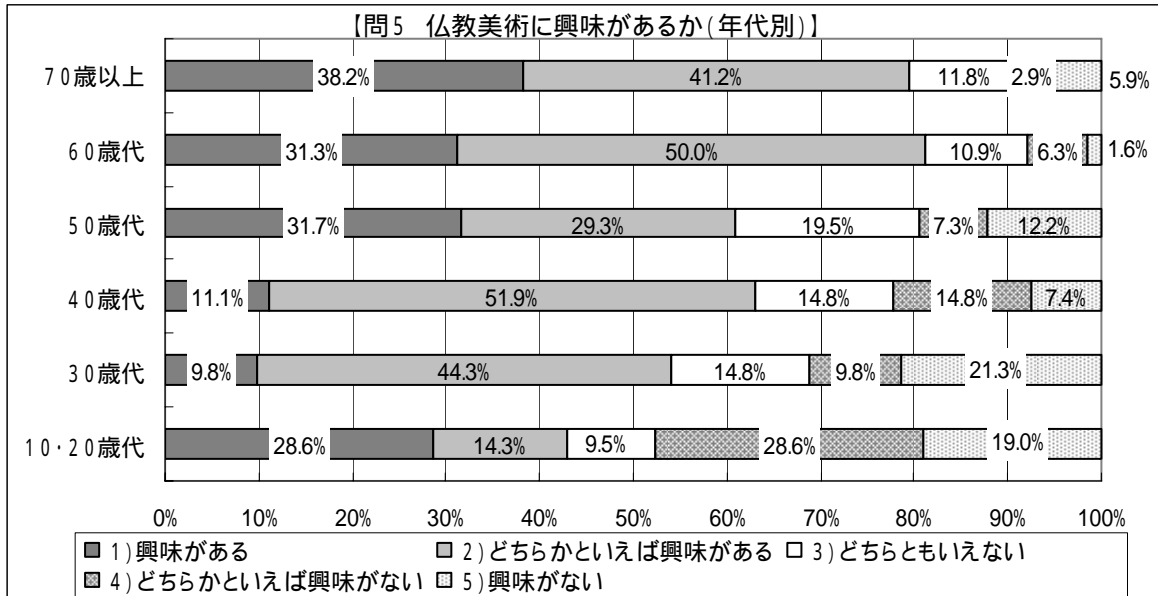


	男性(人)	女性(人)
1) 興味がある	45	19
2) どちらかといえば興味がある	66	50
3) どちらともいえない	17	21
4) どちらかといえば興味がない	12	16
5) 興味がない	12	17
合計	152	123



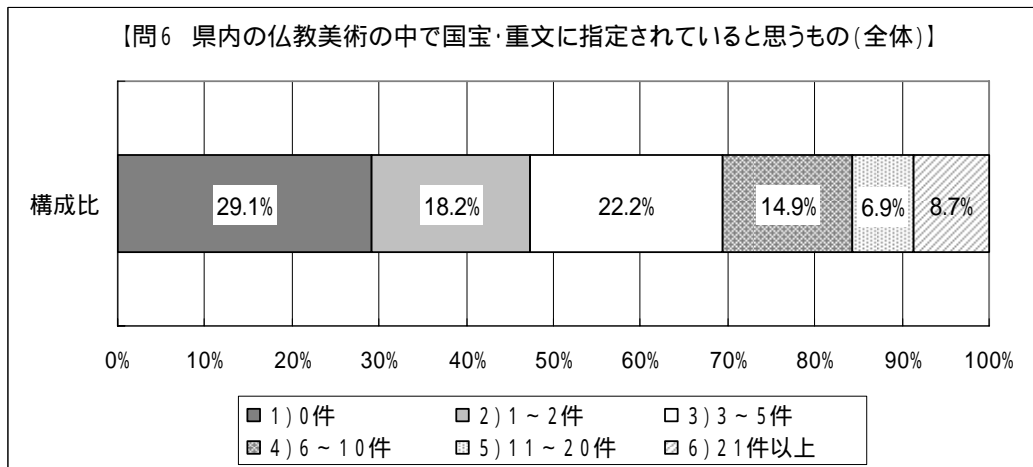
単位:人

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1)興味がある	6	6	6	13	20	13
2)どちらかといえば興味がある	3	27	28	12	32	14
3)どちらともいえない	2	9	8	8	7	4
4)どちらかといえば興味がない	6	6	8	3	4	1
5)興味がない	4	13	4	5	1	2
合計	21	61	54	41	64	34



問6 県内の仏教美術の中で、国宝・重要文化財に指定されているものとして思い当たるものがいくつありますか？

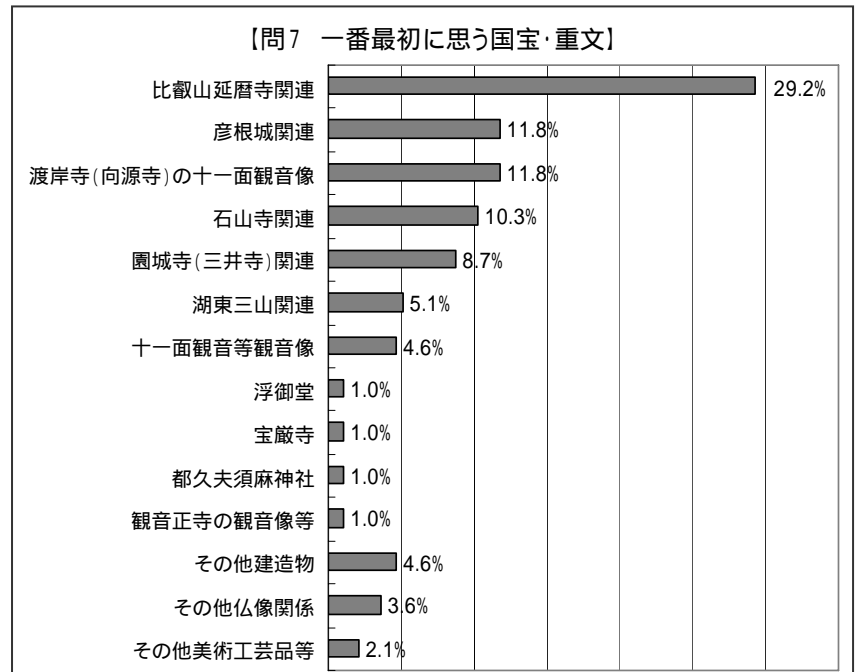
項目	人数(人)	構成比
1)0件	80	29.1%
2)1~2件	50	18.2%
3)3~5件	61	22.2%
4)6~10件	41	14.9%
5)11~20件	19	6.9%
6)21件以上	24	8.7%
合計	275	100.0%



問7 【問6で1以外を選択された方にお尋ねします】
1番最初に思い当たるものは何ですか(自由記載)

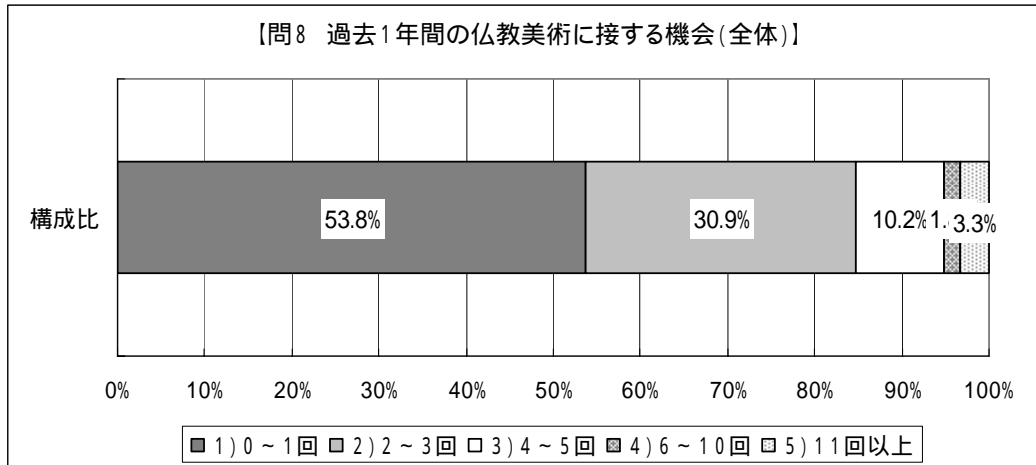
<問6の1以外の回答者数 195人>

項目	人数(人)	構成比
比叡山延暦寺関連	57	29.2%
彦根城関連	23	11.8%
渡岸寺(向源寺)の十一面観音像	23	11.8%
石山寺関連	20	10.3%
園城寺(三井寺)関連	17	8.7%
湖東三山関連	10	5.1%
十一面観音等観音像	9	4.6%
浮御堂	2	1.0%
宝蔵寺	2	1.0%
都久夫須麻神社	2	1.0%
観音正寺の観音像等	2	1.0%
その他建造物	9	4.6%
その他仏像関係	7	3.6%
その他美術工芸品等	4	2.1%
無効回答	8	4.1%
合計	195	100.0%



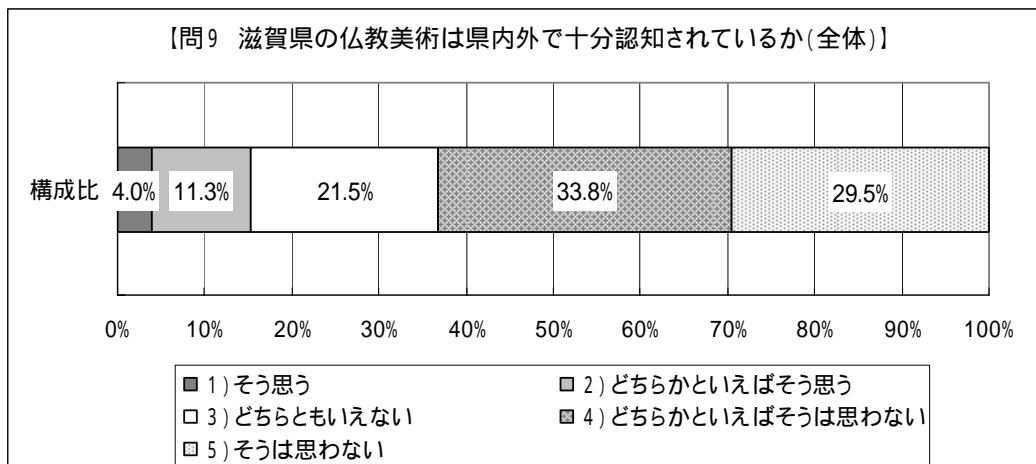
問8 行楽や展覧会等を通じて、仏教美術に接する機会が、過去1年間で何回くらいありましたか？

項目	人数(人)	構成比
1)0~1回	148	53.8%
2)2~3回	85	30.9%
3)4~5回	28	10.2%
4)6~10回	5	1.8%
5)11回以上	9	3.3%
合計	275	100.0%



問9 滋賀県の仏教美術について、県内外に十分知ってもらっていると思いますか？

項目	人数(人)	構成比
1)そう思う	11	4.0%
2)どちらかといえばそう思う	31	11.3%
3)どちらともいえない	59	21.5%
4)どちらかといえばそうは思わない	93	33.8%
5)そうは思わない	81	29.5%
合計	275	100.0%

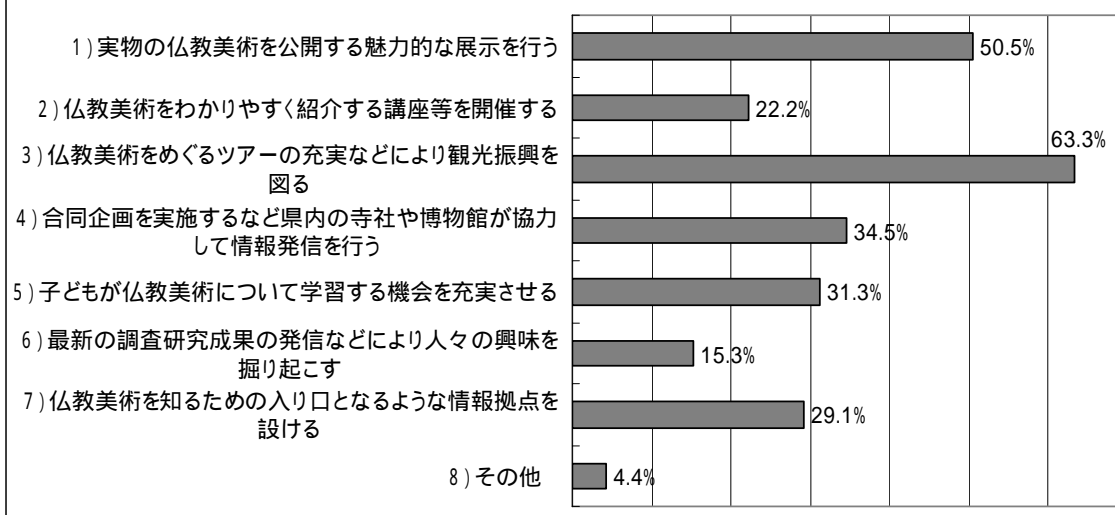


問10 滋賀県の仏教美術の県内外への情報発信について、どのような取り組みが必要だと思いますか
(は3つまで)

<複数回答>

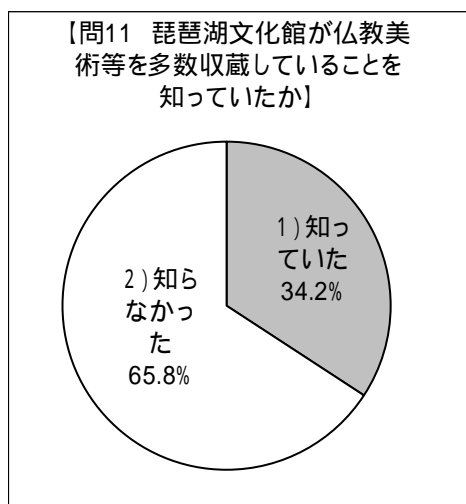
項目	人数(人)	構成比
1)実物の仏教美術を公開する魅力的な展示を行う	139	50.5%
2) 仏教美術をわかりやすく紹介する講座等を開催する	61	22.2%
3)仏教美術をめぐるツアーの充実などにより観光振興を図る	174	63.3%
4)合同企画を実施するなど県内の寺社や博物館が協力して情報発信を行う	95	34.5%
5)子どもが仏教美術について学習する機会を充実させる	86	31.3%
6)最新の調査研究成果の発信などにより人々の興味を掘り起こす	42	15.3%
7) 仏教美術を知るための入り口となるような情報拠点を設ける	80	29.1%
8)その他	12	4.4%

【問10 滋賀県の仏教美術の情報発信に必要な取り組み】

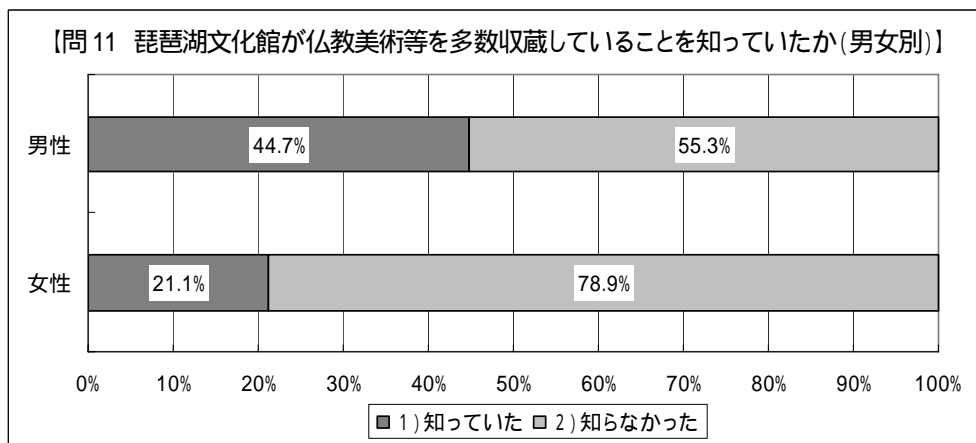


問 11 琵琶湖文化館が、滋賀県ゆかりの仏教美術をはじめとする多数の優れた収蔵品を有していることを知っていましたか？

項目	人数(人)	構成比
1)知っていた	94	34.2%
2)知らなかった	181	65.8%
合計	275	100.0%

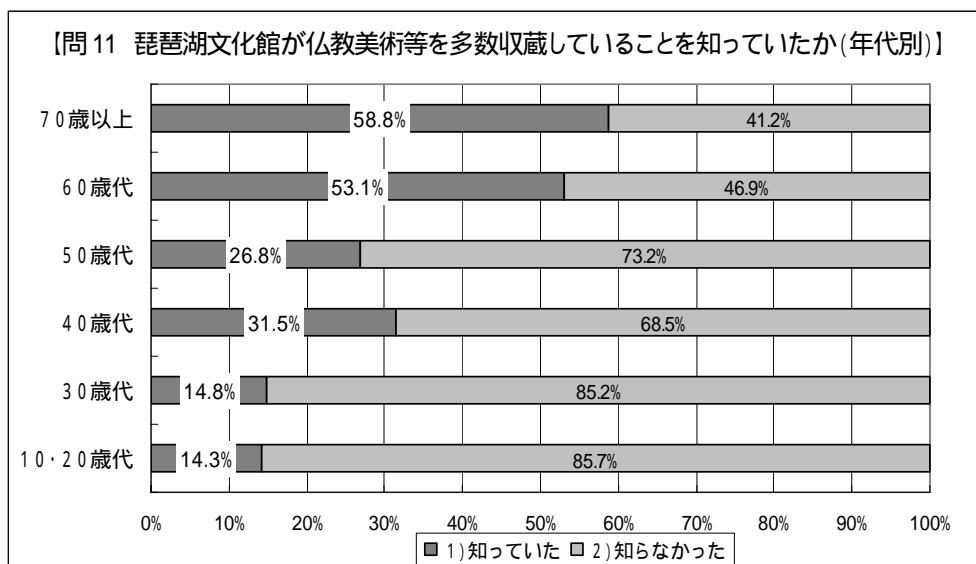


	男性(人)	女性(人)
1)知っていた	68	26
2)知らなかった	84	97
合計	152	123



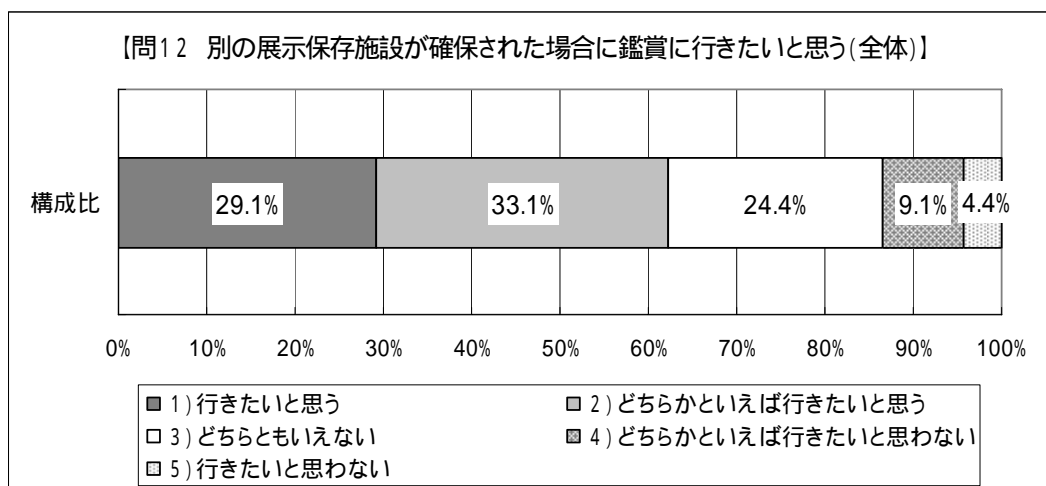
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1)知っていた	3	9	17	11	34	20
2)知らなかった	18	52	37	30	30	14
合計	21	61	54	41	64	34

(単位:人)

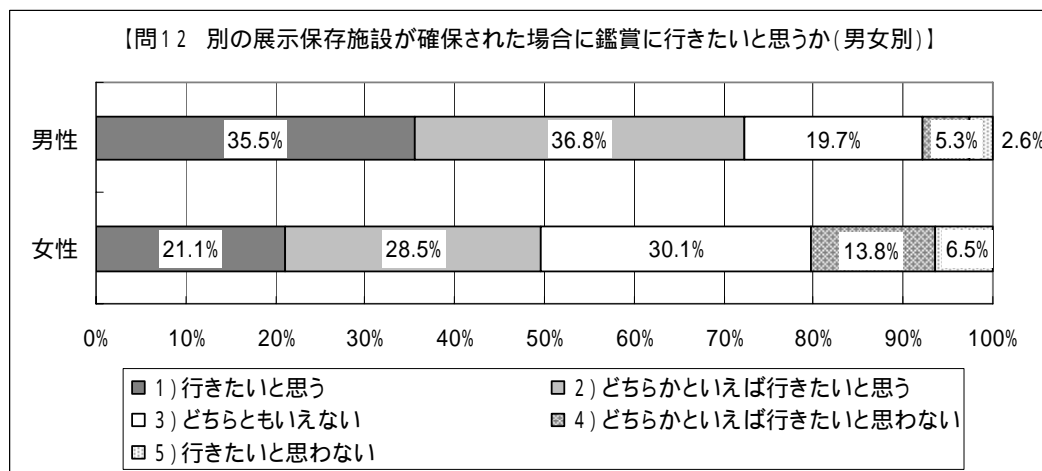


問12 琵琶湖文化館に収蔵されている仏教美術等の収蔵品について、『別の展示保存施設』が確保され、再び展示された場合に鑑賞に行きたいと思いませんか？

項目	人数(人)	構成比
1) 行きたいと思う	80	29.1%
2) どちらかといえば行きたいと思う	91	33.1%
3) どちらともいえない	67	24.4%
4) どちらかといえば行きたいと思わない	25	9.1%
5) 行きたいと思わない	12	4.4%
合計	275	100.0%

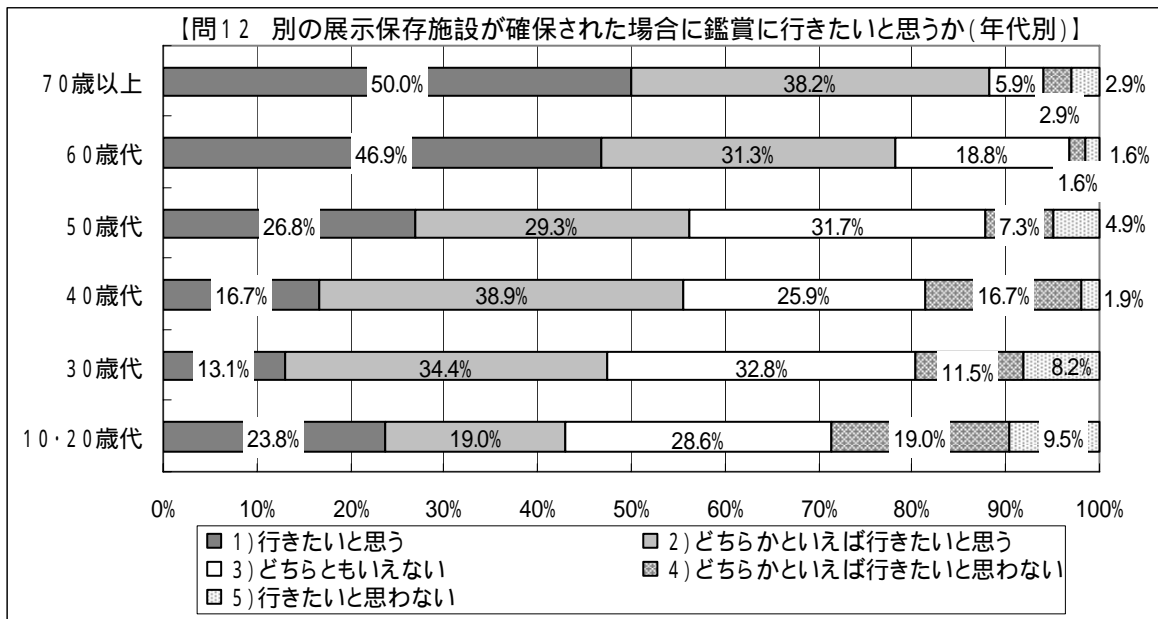


	男性(人)	女性(人)
1) 行きたいと思う	54	26
2) どちらかといえば行きたいと思う	56	35
3) どちらともいえない	30	37
4) どちらかといえば行きたいと思わない	8	17
5) 行きたいと思わない	4	8
合計	152	123



(単位:人)

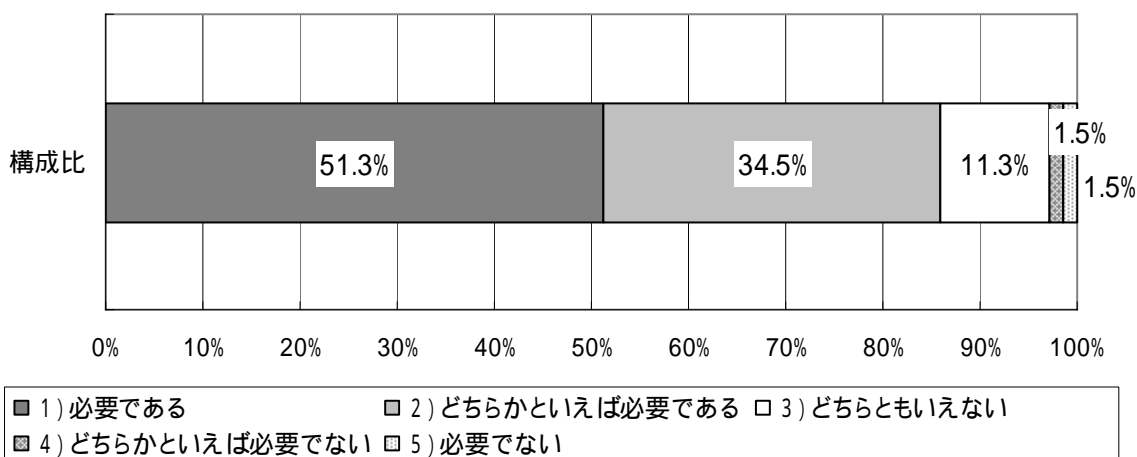
	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1)行きたいと思う	5	8	9	11	30	17
2)どちらかといえば行きたいと思う	4	21	21	12	20	13
3)どちらともいえない	6	20	14	13	12	2
4)どちらかといえば行きたいと思わない	4	7	9	3	1	1
5)行きたいと思わない	2	5	1	2	1	1
合計	21	61	54	41	64	34



問13 滋賀県ゆかりの仏教美術について、県内で保存し、展示公開する必要性についてどのように思いますか？

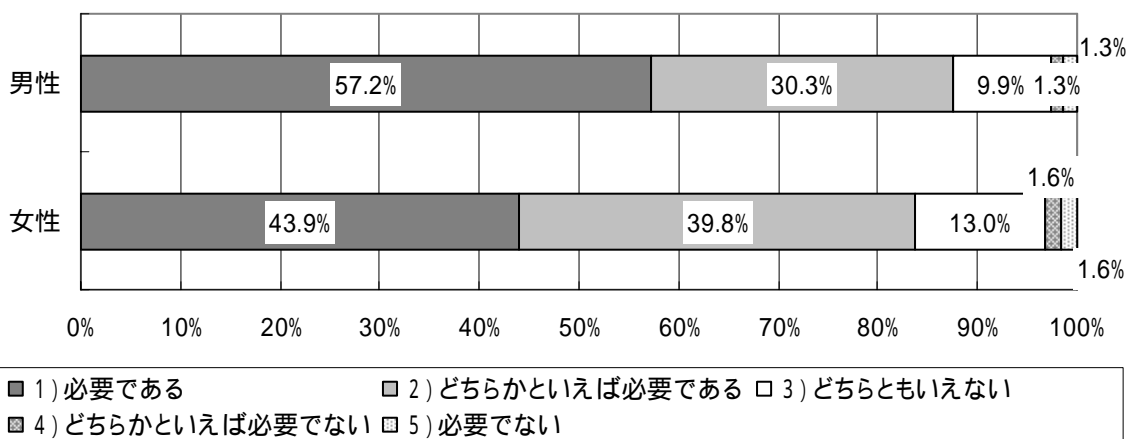
項目	人数(人)	構成比
1)必要である	141	51.3%
2)どちらかといえば必要である	95	34.5%
3)どちらともいえない	31	11.3%
4)どちらかといえば必要でない	4	1.5%
5)必要でない	4	1.5%
合計	275	100.0%

【問13 仏教美術の県内での収蔵・公開の必要性(全体)】



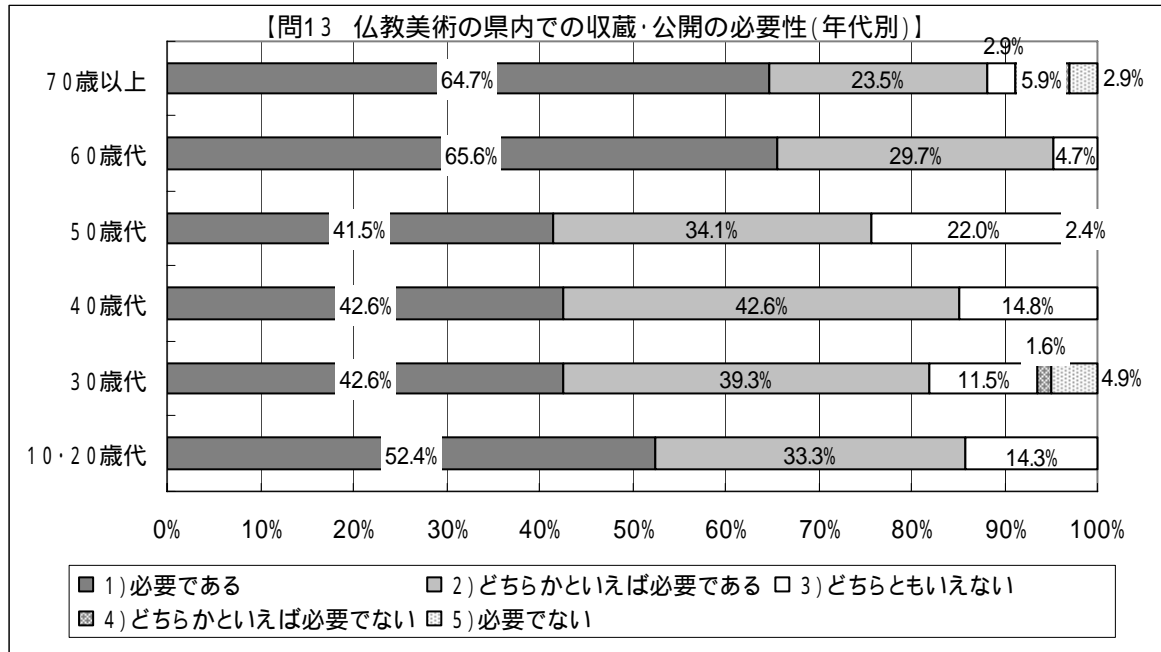
	男性(人)	女性(人)
1)必要である	87	54
2)どちらかといえば必要である	46	49
3)どちらともいえない	15	16
4)どちらかといえば必要でない	2	2
5)必要でない	2	2
合計	152	123

【問13 仏教美術の県内での収蔵・公開の必要性(男女別)】



(単位:人)

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1)必要である	11	26	23	17	42	22
2)どちらかといえば必要である	7	24	23	14	19	8
3)どちらともいえない	3	7	8	9	3	1
4)どちらかといえば必要でない	0	1	0	1	0	2
5)必要でない	0	3	0	0	0	1
合計	21	61	54	41	64	34



問14 仏教美術の魅力の発信についてご意見がありましたらお聞かせください。

<主な意見>

- ・ 仏教美術と日本の歴史は、深く関わりがあるので、特に滋賀県の仏教美術を伝え広めるには、学校の授業の中で、取り上げるのが一番必要な事ではないかと思えます。滋賀県内なら、日帰り出来るので、学校の遠足などに仏教美術に触れる機会を作るのも良いと思えます。又、一般の方々に発信するには、旅行雑誌等にとり上げて貰い集客を増やしていくのも一つの方法だと思えます。
- ・ 近くに京都、奈良があるので滋賀にも仏教美術を推すのはかなり難しいような気がします。どうしても仏を観に行くなら奈良、京都になりがちです。仏教美術を知ってもらうには、まず滋賀県の魅力を知ってもらうツアーなどを企画し、その一環として湖東三山の訪問など身近なところから知ってもらう必要があるのかもしれない。
- ・ 関西地方以外では仏教遺産は京都や奈良には多数存在するが、風景絶佳のびわこをよく知る人でも近江の国にこんなに仏教遺産があることは知らない人が多い。優れた湖国の仏教美術をもっと全国の皆様に知ってもらうためにもマスコミメディアやインターネットを利用した効果ある周知活動をするべきだと思えます。
- ・ 京都、奈良の方が有名で今ひとつ滋賀のイメージがわからないと思えます。もっと滋賀の特徴を明確にして情報発信する必要があると思えます。
- ・ かなり多くの仏教美術を県が所有していると聞いております。歴史的な観点で体系化し子供にも分かる様な展示会を開催したり、教科書に出てくる仏教美術との同じところ、違うところ等を説明して、美と歴史に興味がある子供作りに繋げて欲しい。また、滋賀のお寺はあまり俗化していない所に良い所があります。シルバー層をターゲットに歴史的価値や信長、秀吉等の有名武将との関係をしっかり説明し、一度きて見たいと思わせる事が大事。
- ・ 日本の美術は仏教を中心に発展して来たと思う。滋賀県には素晴らしい社寺仏閣や庭園が多く、一部では観光化されているが、公開されていない所が沢山あると思うのです。他県の美術館等でも展示し、「滋賀の美」を発信したいものです。
- ・ 三井寺、石山寺、延暦寺、義仲寺、西教寺等滋賀県は京都、奈良にも劣らない仏教に関する文化財が存在している。しかし京都、奈良に比べると内容は匹敵するのに知名度は低いと思われる。PRもさることながら、文化財は滋賀県の広い領域に拡散しているので行きにくい面もあるのではないかと。文化財めぐりのバスツアーを考えてもよいのではと思う。大津市民に対し1カ月に1度第3日曜日を無料拝観にしているが天候とか他の用事とバッティングすることが多く、せめて月2度無料拝観にできないか。大津市民が行くことにより滋賀の文化財をより宣伝できるのではないかと。
- ・ 歴史に興味がない方には仏教美術、と聞くだけで敬遠されることが多いと思えます。どうやって多くの人が興味をもつ事柄と結び付けるかが重要だと思えます。今なら大河ドラマと関連づけることもできます。また、仏像の美術的特徴よりも、その時代の人々が仏教に何を求めてその仏像が生まれたのか、という生きた思いとつなげると身近に感じてもらえると考えています。歴史は現在とつながっているものです。自分ともつながっていると感じてもらうことが、多くの人を惹きつけるために必要だと思えます。
- ・ 県内の国宝マップを作り、それを団塊の世代向けにPRするとかすべき。とにかく発信力・企画力に乏しいと感じる。

- ・古の魅力を展示するだけでなく、音と映像を伴ったコラボレーションが必要と考えます。
- ・問10の1から7までがその通りと思考する。以上のような事を実施する事により滋賀の仏教美術の魅力が必然的に向上する。要はPR不足では無いか、マスコミや旅行会社、県の関係施設を利用し興味関心を広め深める事、また県下の各寺社の事情により仏教美術品の保管、管理、展示等に困惑されている所も有るように見受けられるので連携を強化して盗難、売却、流失、修理などの相談に県として今まで以上に効果的な対策をすべきと思う。
- ・滋賀が誇る仏教美術について県外また国外に発信することは、滋賀をアピールすることになると思うのでこれからも期待したいです。
- ・特に鎌倉仏教以降、歴史的にも滋賀県が仏教の信仰の舞台として多くの美術品が残されており、滋賀県内の独自の仏教の歴史と言う観点での表現・発信ができれば、県民の意識としても高まると思います。
- ・琵琶湖108霊場めぐりをしていると地元で半世紀も住んでいて、まったく知らなかったお寺や仏像を見ることができ、はっきり言って、驚いています。(国宝や重要文化財でなくとも)美術館や博物館で見る立派な仏像と違い、守っておられる方々からいろんなお話を聞く事で、仏像や建物を取り巻くその場の空気とリアルな臨調感を感じることが出来ます。ただ、多くの人が訪れるようになると、物騒になり、今まで地元の方々が守ってこられたものが壊されてしまいかねないので、このままひっそりとされているのがいいのかも判らないとも感じます。
- ・日常生活のうえでは、なかなか仏教美術に出会うことがなく、グループやツアーの旅行の際に、国宝のある寺院の見学をすることが多いので、多くの県民にもっとアピールが必要と考えます。見学会の開催、登録者にメールによる施策の案内等
- ・県内を巡回して展示会を開催して欲しい。
- ・地元の人間が知らないことを県外の人知っているはずがありません。私の群馬の友人は仏教美術にとっても造詣が深く暇を見つけては寺社仏閣めぐりをしているのですが、私の知る限り滋賀県に来たことは一度もありません。私も、一応有名な寺の名前をいくつか出すことはできますが、場所を知っているのは片手で足りるくらいです。勉強しようと思いましたが、まとまっている情報にどうアクセスすればいいのかがわからず、手が出せない状態です。情報の整理・集約・提供と交通網の整備を並行して進めていただきたいです。車がなくても気軽に安く移動できる手段があればいつも思います。
- ・そもそも私は仏教美術にさほど興味がない為、滋賀県が仏教美術の魅力発信を行うことに対して、賛同したいとは思わない。
- ・単なる美術品としてではなく、地域の人々の暮らしのなかでどのように守り育てられてきたかを子供たちに伝える機会が必要だと思う。
- ・もともと仏教美術に興味がある人は、自分で調べてでも見に行ったりすると思いますが、興味の無い人は、展示されているという情報があっても素通りしてしまうのではないのでしょうか。もっと仏教美術が気軽に楽しめるような発信の仕方をしていく必要があると思います。小説や映画、ドラマなどと結び付けて紹介すれば、より身近なものとして感じられるのではないのでしょうか。

問15 琵琶湖文化館についてご意見がありましたらお聞かせください。

<主な意見>

- ・小学生のころ行った記憶がありますが、それきりです。膨大な収蔵物があることを閉館の話とともに知りました。実はすごい施設だったんですね。もっと活用できなかったのかと残念に思いました。小学生のころは全くおもしろくない施設でしたが、今見たら結構楽しいんじゃないかと思うんです。それだけたくさんの所蔵品があるなら、別の展示保存施設でとっかえひっかえ展示を入れ替えてみたらどうでしょうか。いろんなくくりで企画展をしてみたら、ちょっと行ってみたいくなるかも。あと、無料駐車場も必須です。前のところは施設は知っていますが、駐車場はどうなっていたのか記憶がなく、滋賀はやっぱり横に広い駐車場が必要だと思うので。
- ・琵琶湖文化会館の存在は知っていましたが、展示内容は全く知りませんでした。PR不足？小生の無関心もありました。琵琶湖文化館は「仏教美術」だけでなく、一帯を県民の文化ゾーンとして県民が常に足を運べる催しを企画して欲しい。併せてアクセスの利便性も（安い駐車場、シャトルバス）も検討して頂きたい。
- ・耐震性で閉館・・・仕方ないですが、滋賀の文化財が他の都道府県の管理に流れないように、速やかに保管できる文化館の代りのものを作るべきです。そのために寄金、無利子県債等工夫をして速やかな代替館の建設を望みます。出来るだけ鉄道の駅に近いところ、休校となった校舎校地も候補ではないでしょうか。時間はないと思います。他に流れないように。
- ・琵琶湖文化館については、なんともいえないが、少なくともその収蔵品については、県民の財産であるから、県民の目に触れるところに展示すべきである。琵琶湖博物館など類似の施設が多くあるのだから、文化館を廃止することがあっても、収蔵品だけは展示する方向で検討すべきである。
- ・ホームページは素晴らしいものであると思うし、活動内容も人気があるように思う。
- ・滋賀に相応しい最適地に位置しているが、現在としては、駐車場をはじめ入館し難い（閉館のままで正解だと思う）施設になってしまった。再建されるなら仏教に似合う閑静で、琵琶湖が望める高地も候補地に入れてほしいものです。
- ・琵琶湖文化館が県内の文化財を引き取り保管しているということをいつかの新聞で知り、大変素晴らしいことだと感じました。文化遺産の多い滋賀県には無くてはならない施設だと実感しています。今後も滋賀県はこの施設を運営していくために、予算の裏付けをきちんと保障すべきだと考えます。
- ・施設の老朽化で博物館の機能がなくなったことは残念。新しい代替施設が開設されることを望む。
- ・もう少し、近代的で足が運びやすく若者も高齢の方も行きやすい場所で改めて展示ができるようになることを期待しています。
- ・何度も通いました。このようなご時世ですから廃館もやむをえないと思いますが、変わるものをお願いしたいです。文化はソロバンになじめないものもありましょう。バランスシートだけで存在を左右すべきではないと思います。が度外視して箱物づくりに熱を上げてもらっても困ります。人が集まらなければ人が集まる複合施設もありだと思えます。
- ・まず、県として、どうしたいのか？今の状態では「倉庫」みたいである。現実問題、維持するにも解体するにしても、資金は必要。一体、いくら必要か見積もり、県民に提示し、意見をもとめることが必要と考えます。解体となれば、県立近代美術館で常設展示という選択肢もあると考えます。

- ・私の住む湖北地域では、琵琶湖文化館の情報が身近ではなく、まったくわかりません。インターネットを開けばいいのですが、あること自体知りませんでした。湖北地域のほとんどの人が知らないと思います。まず、県民に情報を届けるということを一番にする必要があると思います。
- ・琵琶湖文化館がどこにありどのような優れた収蔵品を有しているのかを、もっと県民に知らせ興味関心が持てるようにしていく必要があると思う。
- ・琵琶湖文化館が閉館されたのは残念です。建物もユニークですし更なる活用を検討して欲しい。ただ、エレベーター、エスカレーターなどの施設が無いので利用勝手は悪い。
- ・琵琶湖文化館を今回、調べて初めて知りました。城の様なものが大津にある事は知っていましたが、それが琵琶湖文化館である事を今回知りました。琵琶湖文化館をもっと知ってもらわなければならないと思います。
- ・滋賀に引っ越してきた当初に訪れたときは日曜日だと言うのに誰も居なく何もつたいない施設なんだろうと思った。無駄な施設も多いが無駄にしている施設も多い。努力が足りない。これ以上県の予算を使って『別の展示保存施設』を設けなくて県立美術館や大津歴史博物館などに展示して分散せずにそれぞれをもっと充実させたほうがよいと思う。
- ・建築物が古いし、場所が県の端に偏っているので、近江八幡市など、県の中央部の交通の便の良い場所に再建築（または移転）すべき。
- ・昔、遠足で行ったことを覚えています。大人になってからも何回か訪問しました。湖に浮かぶ建物に驚いたことを思い出しました。建物に入れないのは仕方がないので中の展示物が他の場所でも再び見られることを望みます。
- ・琵琶湖文化館は長い歴史の中で所有者の協力の基に、文化財を保存してきました。一方、文化館が老朽化しているのも事実でしょう。今日、最も大事なことは、管理している文化財をしっかりと管理することであり、一時的に公開ができなくなるとしても、展望をしっかりと県民と知らせてほしい。今の県の姿勢からは「貴重な文化財を守り保存していく」という熱意が感じられません。ただ、「文化館が古くなったから」だけという理由では真意はそうではないと思いますが、あまりにもお粗末に聞こえます。
- ・琵琶湖文化館に代わる、立派な建物が必要です。立地場所、建築費など大きな問題もあり、県民の皆さんから知恵をいただき、検討しなければと思います。